



福島町長 鳴海 清春

謹賀 年頭のご

合併70周年に感謝し、 80年に向けて新たな道を歩む！

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。本年もご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられ、心からお喜び申し上げます。年頭にあたり今年は良き年の幕開けとなることを願うものであります。

さて、福島町は、町村合併促進法の施行により昭和30年1月1日に、福島町と吉岡村が合併し、新福島町が発足しております。

今年で新福島町が誕生し、70周年の節目を迎えることとなります。

先人たちが歩みを進めながら脈々と築きあげてきた“まち”福島町の灯を絶やすことなく、今を生きる私たちが次の世代へ引き継いでいく責務があります。

私は先人たちへの感謝の思いを胸に、新たな歩みを町民の皆さまと共に覚悟をもって進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年1年、さまざまな記念行事などが予定されておりますので、町民の皆さま方の参加とご協力をお願いいたします。

町内では、新たな吉岡温泉がリニューアルオープンし多くの方々にご利用いただいております。

また、青の洞窟を巡る岩部クルーズがまちの新たな顔として定着し、道の駅もリニューアルされ、加えてアワビカレーやいかトンビパスタなど新たな食が地元の商店で提供され

るなど、新たな事業が着実に根付いた年でもありました。

さらに、福島商業高校の存続に向けた全国募集が2年目を迎え、全国から学びを求めて集まった生徒が更なる生徒を呼び込むなど、新潮学舎を中心に新たな潮流が生まれております。

町では、第6次（令和6年～令和13年）の福島町総合計画を基本にまちづくりを推進しております。

国の関係事業では、松前町白神と吉岡地区をつなぐ新たな白神防災道路が順調に推進されており、早期の事業実施に向けて国の予算確保に努めてまいります。

町の事業では、若者などの定住を図る町有住宅建設などが計画されております。

町民一人ひとりが夢と希望と勇気を持って行動すること、それがまちづくりの実現に欠かせない要素となりますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

新たな1年の初めにあたり、福島町に住むすべての方が幸せを感じるような町政に努めるとともに、町民の笑顔が広がるよう皆さまに寄り添った行政を目指してまいります。

新しい年が町民の皆さま並びに福島町にとって燦々と輝く年となりますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。